

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

団体名：しずおか福祉 BCM 研究会

調査目的

本調査は、平成 31 年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問 1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価… 1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業成果・波及効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	3
	(評価理由)：作成した冊子配布に関して理不尽な差し止めがあった		
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	3
	(評価理由)：制約が多く難しかった		
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	3
	(評価理由)：2と同様		
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	3
	(評価理由)：初年度の協働担当課の担当職員と協働に対する意見の相違が大きかった		
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	2
	(評価理由)：		
6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。	4	
(評価理由)：本来行政が実施する部分だと思ふ為、特に継続せず。			

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果

協働を進めるにあたり、制約や縦割り、協働に対する認識不足など静岡市の協働に対する体制が不十分であることが理解できた。

協働して事業を行う上での課題

全ての職員というわけでは無いが、静岡市職員の協働に対する認識不足と危機感の低さが最大の課題。委託事業としての色合いが強く、協働事業創出の意図が見られない。協働パイロット事業自体の必要性を外部から厳しく評価した方が良い

問3 平成31年度静岡市協働パイロット事業で実施した事業について、令和2年度以降も継続して事業を実施する予定はありますか。

- ① 現在実施している
- ② 今年度実施する予定である
- ③ 今年度は実施しないが、来年度以降実施する予定である
- ④ 実施する予定はない

問4 問3で①、②、③と回答した方にお聞きします。貴団体が実施している、又は予定している事業の内容について、簡潔にお書きください。

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ・提出先 静岡市 市民局 市民自治推進課 担当：青山
〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1
TEL：054-221-1372 FAX：054-221-1538
メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

担当課名： 危機管理課

調査目的

本調査は、平成 31 年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問 1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価… 1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業成果・波及効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	3
	(評価理由)：事業の対象施設が少なく市民ニーズ充足達成とまでは言えない。		/
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	5
	(評価理由)：今回の風水害空振り表彰は、当課が単独で実施する事業ではない。		/
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	2
	(評価理由)：市民活動団体からの発案ということでは、先駆性、創造性があった。		/
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	3
	(評価理由)：各課担当者の打合せが十分ではなかった。		/
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	5
	(評価理由)：当課の予算計上なし		/
6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。	3	
(評価理由)：対象の事業者数の増加と審査基準の見直しが必要		/	

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果
協働事業特性として、市職員だけで進めるのではない外部委員との交流、意見交換

協働して事業を行う上での課題
協働事業を行ううえで、参加各課の主要業務に応じた担当事務を明確にする必要があるのではないか。

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ 市民自治推進課 市民協働促進係

メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

担当者：青山（内線：81-2283）

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

担当課名： 福祉総務課

調査目的

本調査は、平成 31 年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問 1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価… 1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業 成 果 ・ 波 及 効 果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。 (評価理由)：目的は概ね達成していると思うが、成果物の今後の活用等課題があるため。なお、市民ニーズの充足については、当該事業目的ではない。	2
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。 (評価理由)：市民活動団体の協力により、行政が見落としがちな現場の視点を知ることができたため。	2
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。 (評価理由) 行政の立場として実施困難である提案が多かったため。	3
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。 (評価理由)：新型コロナウイルスによる影響で、市長との懇談会が中止となったが、概ね予定どおり実施できたため。	3
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。 (評価理由)：見積もったとおりであったため。	1
	6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。 (評価理由)：行政の立場として実施困難である提案が多かったため。	4

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果

市民活動団体が市民目線であることから、行政に求めていることや要求レベルを知ることができた。また、行政が見落としがちな現場の視点を知ることができた。

協働して事業を行う上での課題

行政の立場として実施困難である提案が多かった。

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ 市民自治推進課 市民協働促進係

メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

担当者：青山（内線：81-2283）

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

担当課名： 障害者支援推進課

調査目的

本調査は、平成 31 年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問 1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価… 1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業 成果 ・ 波及 効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	1
	(評価理由)：事業所の防災意識向上に寄与する取組であるため		
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1
	(評価理由)：防災現場に係る専門的知見を活用することができたため		
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	1
	(評価理由)：防災現場に係る専門的知見を活用することができたため		
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	2
	(評価理由)：新型コロナ感染拡大防止のため、表彰式を開催できなかったため。		
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	1
	(評価理由)：問題なしのため		
6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。	2	
(評価理由)：課題欄に記載のとおり、事業所の事務負担軽減が課題。			

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果

- ・表彰を行うことで、各事業所の防災意識の向上につながった。
(一堂に会する表彰式は開催できなかったが、表彰自体は実施している。)

協働して事業を行う上での課題

- ・事業所の広がりが見えなかった。
- ・事務負担がかかるため、多くの参加を得ることが難しかった。

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ 市民自治推進課 市民協働促進係

メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

担当者：青山（内線：81-2283）

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

担当課名： 高齢者福祉課

調査目的

本調査は、平成 31 年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問 1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価… 1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業 成果 ・ 波及 効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。 (評価理由)：目的は概ね達成していると思うが、成果物の今後の活用等課題はあり、市民ニーズの充足が達成できたかはわからない。	5
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。 (評価理由)：市民活動団体の協力により、行政が見落としがちな現場の視点を知ることができた。関係各課で協力して一括した回答ができた。	2
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。 (評価理由)：市民活動団体の意欲や意図は伝わるが、行政の立場としては実施できないまたはそぐわないことであることが多かった。	3
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。 (評価理由)：新型コロナウイルスによる影響で、懇談会が中止となったが、風水害対策チェックスタートブックの作成等は、予定どおり実施できたため。	2
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。 (評価理由)：予算措置は講じなかった。	5
	6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。 (評価理由)：行政の立場としては実施できないまたはそぐわないことであることが多かった。	5

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果

市民目線。行政に求めていることや要求レベルを知ることができた。

協働して事業を行う上での課題

市民活動団体の意欲や意図は伝わるが、行政の立場としては実施できないまたはすぐわないことであることも多く、協働することが難しい。

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ 市民自治推進課 市民協働促進係

メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

担当者：青山（内線：81-2283）

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

担当課名： 介護保険課

調査目的

本調査は、平成 31 年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問 1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価… 1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業成果・波及効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	3
	(評価理由)：目的はある程度達成できたが、成果物の今後の活用方法等に課題がある。また、市民ニーズをどの程度充足できたかは不明。		/
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	4
	(評価理由)：行政として関与すべきでない部分に係る提案が多く、結果として、行政の単独実施と大差ない内容にとどまった。		/
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	4
	(評価理由)：市民活動団体の意欲や意図に理解できる部分はあるが、行政として関与すべきでない部分に係る提案が多く、先駆性、創造性の乏しいものとなった。		/
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	2
	(評価理由)：新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業が中止となったが、その他の事業については概ね予定どおりに実施できた。		/
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	5
	(評価理由)：当課において予算措置を講じていない。		/
6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。	5	
(評価理由)：行政として関与すべきでない部分に係る提案が多く、行政の単独実施と大差ない内容となり、効果を実感することがなかった。		/	

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果

社会福祉施設の従事者が、災害対応に関して取り組んでいること、不安に感じていること等を知ることができた。

協働して事業を行う上での課題

市民活動団体の意欲や意図に理解できる部分はあるが、行政として関与すべきでない部分に係る提案が多く、先駆性、創造性の乏しいものとなってしまった。お互いの立場を尊重しつつ協働することの難しさを感じた。

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ 市民自治推進課 市民協働促進係

メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

担当者：青山（内線：81-2283）